

特集 1



進化する道の駅

～多様な機能を備えた道の駅～

道の駅は、1993年に登録制度が始まり、当初は103駅から始まり30年以上経過した現在(R6年8月現在)では、1,221駅が登録されています。近年は、多様なニーズに合わせた道の駅の設置や施設の増設・改修が行われる事例が増えてきています。今回は進化する道の駅について特集します。

Part1 成功する道の駅のPoint

現在、全国各地に多くの道の駅が登録され設置されていますが、賑わっている道の駅もあれば、そうではない道の駅もあります。はじめに、我々の視点から賑わっている道の駅の成功のポイントをまとめてみました。

成功ポイント① 立地条件が良い

1. 高速自動車道 IC 周辺、主要な国県道、あるいは観光地へ繋がる交通量の多い道路に隣接している。
2. 道の駅に出入りするための円滑な動線が確保されている。
3. 十字路又は丁字路の交差部に立地しており、複数の道路からアクセスが可能。



■ 常総 IC に近接する道の駅【道の駅 常総（茨城県）】

成功ポイント② 直売所の品数が豊富、買いやすい工夫がされた陳列

1. 直売所や物産販売所に品揃えが多く、地元地域や他の地域の特産物など商品の種類も豊富。
2. 商品の効果的な陳列やレイアウトにより、購買意欲を掻き立てる工夫がされている。



■ 目を引くレイアウトと地域の特産品を活かした商品を豊富にそろえている
【道の駅 うまくたの里（千葉県）】



■ 通路幅も広く、木で作られた棚に商品を見やすく配置している
【道の駅 川場田園プラザ（群馬県）】

成功ポイント③ オリジナルの人気商品がある

- ・ここでしか買うことの出来ない商品や、食べることの出来ない名物料理、地域の特産物を活かしたオリジナル人気商品など、その商品を目的に訪れる人が多い。



■ 人気商品のメロンパンを求め大行列が出来ている
【道の駅 常総（茨城県）】



■ 「道1グランプリ2023復活祭」で2位となった赤城牛のローストビーフ丼
【道の駅 まえばし赤城（群馬県）】



■ ここでしか買えないオリジナル商品を販売している
【道の駅 保田小学校（千葉県）】

成功ポイント④ 観光客だけでなく、地元客も利用（平日の賑いも確保）

1. 観光地値段ではなく、一般的な価格設定になっている。
2. 観光客を主体とした土産物だけでなく、一般的な日用品やスーパー的な商品も取り揃えている。
3. 地元の人でも利用しやすい施設を備えている（温泉、会議室や調理室、子ども用プレーパークなど）



■ 野菜だけでなく、お肉やお魚も販売しており、普段から利用しやすい
【道の駅 まえばし赤城（群馬県）】



■ 町内に住む人が安く入れる温泉を備えている
【道の駅 むつざわ 湯の郷（千葉県）】



Part2 進化する道の駅

道の駅は、元々道路利用者のためのトイレ等の「休憩機能」、地域インフォメーションセンター等の「情報発信機能」、活力ある地域づくりのため物産直売所などの「地域連携機能」の3つの機能を基本として設置されました。

近年、道の駅は道路利用者の為の単なる「休憩機能」を持った施設から、『交流機能』や『防災機能』、『体験機能』などが、新たに追加され、**多様な機能を備えた道の駅**が増えています。

◎「道の駅」機能の変遷

従来の道の駅

- 安全で快適な道路交通環境の提供
- 地域の振興に寄与する

1. 「休憩機能」

トイレなど



2. 「情報発信機能」

インフォメーションセンターなど



3. 「地域連携機能」

物産直売所・軽食レストランなど



進化する道の駅

- 道の駅自体が目的地
- 防災拠点化による安心の提供

1. 「交流機能」

温浴施設・多目的広場・BBQ・レンタサイクルなど



2. 「防災機能」

EV 充電器、ソーラシステム、かまどベンチ、防災トイレなど



3. 「体験機能」

体験農園・農産物加工体験施設など



事例1

道の駅まえばし赤城

群馬県前橋市

多様な機能を備えた新たな道の駅 年間来場者 440 万人!!



【道の駅の概要】

○コンセプト

- ・前橋のタウンリノベーションの核となる
モノ×コト×ヒトの結節点としての新しい道の駅
- ・平日・休日問わず日常的に賑わう道の駅

○開設日

2023年3月21日

○敷地面積

71,656 m²

○事業費

前橋市：49億2千万

PF1 事業者：7億9千万

『道の駅まえばし赤城』は、従来の道の駅の機能に加え、防災機能や温泉施設、遊ぶ・イベント機能を導入しています。20を超えるショップやアクティビティも充実しており、平日・休日を問わず大人も子供も楽しむことができる「多機能進化型の道の駅」となっています。

道の駅を拠点とした周辺観光

観光案内所内では、自転車レンタルや地域の観光情報を発信し、道の駅を拠点とする周辺観光コース等の紹介も行っています。



■ レンタサイクル



■ 周辺観光案内

多彩なイベントの開催

広場などで年間 50 回以上のイベントが開催されています。定期的に行われるものから、期間限定のイベントまで様々なイベントが行われ、賑わっています。



■ マーケット広場でのイベントの様子



■ 温泉施設

ドライブの休憩や1日の疲れを癒す温泉施設も備えています。



■ バーベキュー場

手ぶらでBBQも楽しむことができます。



■ 遊具とふわふわドーム



■ バナナ農園、ショップでの販売

遊ぶ・イベント機能

飲食・ショッピング機能



■ 農畜産物直売所



■ 物産販売所



■ 鮮魚センター



■ 飲食ショップ



■ フードコート

一般市民も利用しやすい

新鮮な野菜や魚、前橋市の特産品、道の駅オリジナル商品など数多くの商品が並んでおり、一般市民も利用しやすい施設です。



交流機能



■ 会議室



■ 調理室

市民利用の促進



会議室や調理室を備えており、会議や研修目的の使用だけでなく、昼食の会場、地域の行事や学校の調理実習など用途は様々。

市民の方にも多く利用されている施設です。

防災機能



■ 防災倉庫



■ 屋根付きの多目的広場

防災機能を備えた道の駅

防災倉庫や屋根付きの広場は、防災・復旧の場としても活用されます。指定緊急避難場所・防災物流拠点・受授受入拠点にも指定されており、災害時には災害対応施設として活用されます。



道の駅「まえばし赤城」事業化のポイント

① 基本計画段階から、特別目的会社(SPC)が関与・設計・建設・運営を担当

日本初の事業手法である計画付き事業者公募により事業者を選定。SPCが、前橋市とPFI特定事業契約を締結。

SPC：(株)ロードステーション前橋上武

構成企業：(株)ヤマト

(株)オリエンタル群馬

(株)オリエンタルコンサルタンツ

② 行政と民間事業者の役割分担

1. 行政が整備・運営する施設

- ・管理事務所 ・観光案内所 ・屋外広場 ・駐車場
- ・防災施設 ・会議室 ・調理室 ・福祉ショップ

2. 民間事業者が整備・運営する施設

- ・温浴施設 ・ドックラン ・24時間物販施設 ・カフェ
- ・生鮮食料品販売施設 ・エネルギー供給施設 など

3. 行政が整備し、民間事業者が運営する施設

- ・農産物直売所 ・物産販売所 ・サイクルステーション
- ・地産レストラン ・農園 ・フードコート店舗 など

事例2 道の駅むつざわつどいの郷 千葉県睦沢市

地産地消のエネルギーシステムを備えた道の駅



【道の駅の概要】

○コンセプト・整備内容

「町民誰もが健康で幸せに、また安心して暮らし続けられることができるまちづくり」をコンセプトに、天然資源の活用や道の駅と交流施設、賃貸住宅群の一体的な整備を実施。

○開設日 2019年9月1日

○敷地面積 28,636 m²

○事業費 27億7千万円

道の駅むつざわつどいの郷は、直売所や温浴施設、レストラン、戸建住宅などから構成されるむつざわスマートウェルネスタウンの一部です。睦沢町内で生産された天然ガスや太陽光を使用し、災害時にも使用可能な自家発電システムを導入しています。平時は、電力を道の駅と住宅に供給しており、地産地消のエネルギーシステムを備えた道の駅となっています。

防災機能



■ ガスエンジン発電機



■ 防災広場

町の防災拠点としての役割

国の重点道の駅に選定されており、広域での災害において防災拠点としての機能を担うこととなっています。

防災広場は、緊急時にはヘリポートにもなり、防災倉庫やかまどベンチも備わっています。平時は、一般開放されており、広場として利用されます。



■ 防災倉庫

エネルギーの地産地消により、災害時に力を発揮!!

スマートウェルネスタウンの電力は、エリア内に整備された発電機によって睦沢町で生産された天然ガスを電力に変換し、自家消費しています。発電の際に出る廃熱を再利用し、温浴施設に供給しています。この仕組みにより、令和元年台風15号の災害時には、トイレの開放・携帯電話の充電・温浴施設の開放を行い、約1,000人の町民が防災拠点として活用しました。

災害時等に電力復旧拠点として活用することとする「大規模災害時等における相互協力に関する協定」を睦沢町とむつざわスマートウェルネスタウン(株)、東京電力PG(株)、(株)CHIBA むつざわエナジーと締結しています。



新鮮な野菜や農水産物など睦沢産の特産品や加工品も多く揃っています。また、食べ物だけでなく、お花や植物も販売されています。



睦沢町を中心とした地域の食材を活かし、野菜やチーズなど素材本来の美味しさを味わうことの出来るイタリアンレストラン

■ つどいの市場

■ イタリアンレストラン『トラットリア・ドゥーエ』



■ ドックラン



■ オリーブの森のカフェ



■ サイクステーション

自転車をレンタルすることも可能で道の駅を拠点とした周辺の観光や、カフェやドックランも併設しており、ペットと一緒に過ごすこともできます。



■ 温浴施設「つどいの湯」

町民はより安く入浴でき、地域住民が集い憩う温泉施設。地場産の天然ガスで温めた天然温泉や露天風呂、サウナもあり癒しの施設となっています。災害時にも活用されました。



■ つどいのハコ

使用用途は様々

交流施設として、食事会や集会、会議、イベント、中学生の自習室など幅広い用途で町民の方にも使用されています。



■ 地域優良賃貸住宅

町内への定住促進

若い世代が転入出来るよう、住環境の整備を実施。2階建住宅など33戸の住宅を整備し、子育て世代を中心に100人程度の人口増加を図ることに成功。

道の駅「むつざわつどいの郷」事業化のポイント

① 実現性の高い事業アイデアを募集する為民間提案を公募し、PFIにより事業を実施。

整備・運営：PFI-BTO方式(一部B00方式)

利点：施設の設計・設置・運営まで一体で計画が出来、一貫性が持てる。

事業主体：特別目的会社(SPC)

SPC：むつざわスマートウェルネスタウン(株)

代表企業：パシフィックコンサルタンツ(株)

② 激甚化・頻発化する災害に対応可能な施設を整備。

災害時でも電力が供給できるよう、太陽光発電やガスエンジン発電機など発電施設を整備し、エネルギーシステムにマイクログリッドを導入しました。

マイクログリッドは、平常時には再生可能エネルギーを効率的に利用し、非常時には送配電ネットワークから独立し、地域内で発電した電力を供給することが出来ます。

事例3

道の駅たくみの里 群馬県みなかみ町

地域と連携し、様々な体験が出来る道の駅



【道の駅の概要】

○コンセプト

美しい里山の風景の中で、伝統的な手づくり体験を通じて、訪れる人々に日本の文化や技術を伝えることを目指し、伝統工芸と自然の調和をコンセプトにしています。

○開設日

2005年8月10日

○エリア面積

330ha(東京ドーム70個分)

○事業費

2億5,400万円

道の駅たくみの里は、地域一帯を道の駅と捉え、自然の恵みを生かした里山テーマパークです。

たくみの里は、街道を中心に昔ながらの農村風景があり、様々な体験ができる「たくみの家」が点在しています。エリア内には、野仏を巡りながら昔ながらの風情を感じ、様々な体験や食事なども楽しむことができます。

レトロな雰囲気散歩したくなる街並み

たくみの里のメインストリートである宿場通りは、旧三国街道の宿場町の街並みが残り歴史を感じる古民家が立ち並んでおり、訪れた人に江戸時代の雰囲気を楽しんでもらえるよう整備されています。約500mの区間が平成8年に歴史国道に指定され、街並み環境整備事業により、無電柱化や舗装のカラー化、水路の復元などが行われ、宿場町の雰囲気が再現されています。



■ 復元された水路



■ 歴史国道整備事業看板



■ 宿場通り



■ 火の見櫓



■ 水車

火の見櫓や水車、水路、古民家が残る宿場町。道沿いの植栽もキレイに整備されており、歴史的な雰囲気が感じられる魅力的な風景になっています。

様々な体験ができる体験工房「たくみの家」

「たくみの家」は、暮らしの中から生まれた昔ながらの手づくりの技を体験することが出来る体験工房です。昭和62年に5軒からスタートし、現在では20を超えるたくみの家があり、そば打ち体験や木工、竹細工、和紙作りなど色々な体験を行うことが出来ます。



■ 草木屋 染の家



■ おめんの家



■ 和紙の家



広い敷地内に「たくみの家」が点在しており、敷地内を巡るのに便利なレンタサイクルも準備されています!!



■ レンタサイクル



里内の多様な施設

里内には、「たくみの家」での体験だけでなく、美しい田園の風景や果樹園でのフルーツ狩り、食事、さらには宿泊施設も備わっています。

買う

地元産の新鮮な農産物、手づくりの加工品などを買うことが出来ます。



■ たくみ市場

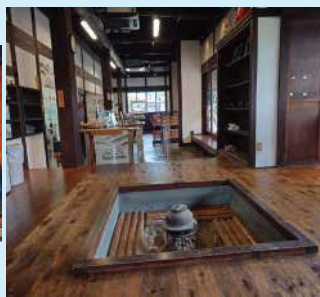


食べる

古民家風の建物の中で、地元産そば粉を使用したお蕎麦等を食べられます。



■ 里山食堂



泊まる

ホテルに宿泊することも出来ます。



■ ファミリーオ みなかみ

体験

ブルーベリー農園の他にも、イチゴやリンゴなど、様々な果樹園があります。季節に応じた旬のフルーツ狩りを楽しむことが出来ます。



■ ブルーベリー農園

眺める

外国人観光客にも人気の田園風景が広がっています。里内には写真映えするスポットがあります。



■ 田園風景

道の駅「たくみの里」事業化のポイント

野仏めぐりの休み処であり、工芸の手づくり体験ができる「たくみの家」を核とする里づくりを実施し、たくみの里の中核施設として道の駅を整備した。

観光と農業の結びつきによる、リンゴ狩りや体験農業だけでは、インパクトが弱いため、自然豊かな田園風景、史跡・文化及び野仏を活用しながら、地域の人々の参加と協力を得てまちづくりを実施。

【たくみの家の整備と維持管理】

- ・ 行政がたくみの家の整備を実施
- ・ 維持管理は、たくみの家に入居した職人さんが実施